

恩納通信所跡地 街づくり推進へ

公庫と村が地域開発協定

沖縄振興開発金融公庫

(川上好久理事長)と恩納

村は7日、那覇市の沖縄公

庫本店で「恩納村地域開発

プロジェクト助言業務に関

する協定」を締結した。恩

納通信所跡地の開発を中心



助言業務に関する協定を締結した沖
縄振興開発金融公庫の川上好久理事
長(左)と恩納村の長浜善巳村長
7日、那覇市おもむまち

とした街づくり事業に対し
て、沖縄公庫が構想や企画
の段階から助言を行う。

同協定は北谷町や南城
市、浦添市などに続き11市
町村目で、北部地域では初
の協定締結となる。恩納村
は「青と緑が織りなす活気
あふれる恩納村」をコンセ
プトに大型ホテルの誘致や
若者の定住化に向けた住宅
整備などを推進する。

締結式で長浜善巳村長は
「村民一人一人が幸せに暮
らせるよう、沖縄公庫と連
携して、恩納通信所跡地と
万座毛が一体となった開発
を進める」と話した。川上
理事長は「公庫に蓄積され
た金融ノウハウを最大限に
活用して、恩納村の街づく
りを支援する」と述べた。

平成29年2月9日
提供：琉球新報社

無断での転用・複写等を禁じます

公庫と恩納村が 地域開発で提携

金融ノウハウ助言

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長＝写真左）と恩納村（長浜善巳村長）は7日、地域開発プロジェクトの助言業務に関する協定を締結した。村の地域づくりに対し、同公庫が金融ノウハウなど専門的な立場からアドバイスする。協定は11市町村目、北部地域では初めて。

恩納村は豊かな自然環境などを背景にリゾートホテルが立地し、沖縄科学技術大学院大学（OIST）を拠点とした地域づくりが進展。今後は恩納通信所の跡地開発や定住促進住宅の整備などさまざまな



プロジェクトが控えている。

長浜村長は「公庫から専門的なノウハウを提供してもらい、地域振興に生かしたい」と述べた。川上理事長は「北部地区への観光の経済波及効果は薄い。先行事例になってほしい」と期待した。

平成29年2月10日

提供：沖縄タイムス社

無断での転用・複写等を禁じます